

小学校第6学年 外国語

今日のめあて達成度 0 30 100

12月3日 100

【よかったこと ○態度/◎内容】

◎友達と協力してすることができた。
◎言えないと書けないので、なかなか言えなかったから今日も話すことに時間をかけた。そのおかげで、つながり情報も付け足すことができた。

【次週に向けてがんばりたいこと ○態度/◎内容】

木は大切だから、自分のピアノを大切にを使っていきたいので、アドバイスをください。

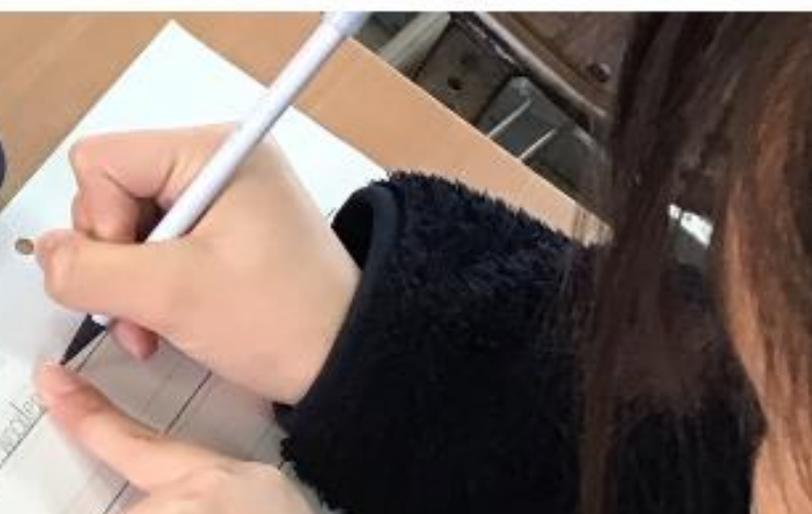
Do you know koyama bats?

Koyama bats live on the mountain.

Forest loss is a big problem.

People cut down many trees.

I want to keep my wooden piano clean.



クラウドで共有された友達のアドバイスを参考にしながら、英語で伝えたい内容を整理する。
学習補助ツールを使うことで、語順を意識して文を書く。

小学校第6学年 外国語 Save the animals.

■単元の目標

日本に生息する絶滅危惧種について、留学生に英語で紹介するために、住処や直面する問題、人々にできることなどの情報を、英語で聞き取ることができる。また、紹介したい内容を整理して伝えたり、紹介文を書いたり読んだりすることができる。

■単元の概要

日本に生息する絶滅危惧種について留学生に関心をもってもらうために、紹介したい内容を整理して伝えるとともに、伝えた内容を辞典にまとめる。

■単元の指導計画（8時間）

第1時

・大学生の話を聞いて、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを把握し、学習の見通しをもつ。

第2時～第4時

・日本の絶滅危惧種について留学生に関心をもってもらうために、その住処や直面する問題、人々ができることなどについて英語で話す。

第5時～第7時

・日本の絶滅危惧種について留学生に関心をもってもらうために、その住処や直面する問題、人々ができることなどについて例文を参考に書き、辞典としてまとめる。

第8時

・日本の絶滅危惧種について留学生に関心をもってもらえる辞典が書けたか、友達同士で読み合う。

■各単位時間の概要

「日本に生息する絶滅危惧種に関心をもってもらうため、留学生向けの英語辞典を一緒に作ってほしい」という宮崎大学の学生からのメッセージを視聴し、本単元の目的や場面、状況などを把握し、単元の見通しをもつ。

日本に生息する絶滅危惧種の住処や直面する問題、人々ができることなどについて聞き取ったり、留学生に伝えたい内容を、友達と英語で伝え合ったりする。言語面や内容面の視点から語句や表現を再考し、言語活動を通して自分が紹介したい内容を整理する。

学習支援ツールを活用しながら、語順や表記ルールに気を付けて辞典に紹介文を書く。また、クラウドを活用して互いの考えや課題を共有することで、内容を整理したり、課題に対する解決策を考えたりする。

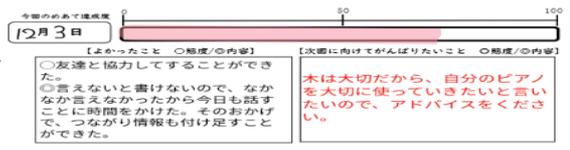
出来上がった辞典を友達と読み合うことで、留学生に関心をもってもらえる辞典が作成できたか、確かめる。

■ 資質・能力が育成され「深い学び」が実現している子供の姿（第5時）

■ 指導上の工夫と ICTの利活用

【学習活動の場面】

本時は、前時まで話してきた内容をもとに、紹介文を書く活動を行った。書く活動に取り組める子供がいる一方で、伝えたい内容がまとまらず、悩んでいる子供もいた。そのため、**内容の整理が必要な子供には、クラウドで共有している振り返りをもとに協働的な学びを促す**とともに、**個別に学習補助ツールに準備した語句絵カード等を活用させて書く活動を促した。**



【子供の「深い学び」の姿】

Aはクラウド上の前時の振り返りに以下を記した。

「木は大切だから、自分の木製のピアノを大切にしていきたいと伝えたい。」共有されているAの振り返りに気付いたBが、前時の学びを生かしてアドバイスをした。B:「『川を大切にしたい。』は、“I want to keep the river clean.” で伝わったよ。」A:「私の『ピアノを大切にしたい。』は、“I want to keep piano clean.”かな。」**わからないことをすぐ指導者に尋ねるのではなく、友達との学び合いを経た上で、Aは、外国人講師(ALT)に確認を行った。**

A: “Check please. People cut down many trees. I want to keep piano clean.”

ALT: “Nice. I can understand. (I want to keep my wooden piano clean.) is better.”

指導者は子供の発話をもとに、学習補助ツールの語句絵カードを準備する等の支援を行った。

Aは、“I want to keep my wooden piano clean.”と、**語順や表記のルールを意識して**1文を書き上げた。



【当該指導での「深い学び」】

「留学生に、日本で生息する絶滅危惧種に関心を持ってもらえるように、紹介したい内容を考える」という、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、子供は思考・判断して情報を整理し、自分の考えを再構築していく。

その際、クラウドを活用して友達と考えを深め合う場面の設定等を指導者が行うことで、**子供自身が表現したい内容が深まっている**。また、指導者やALTの支援、学習補助ツールの活用により、**子供が語順や表記のルールを意識しながら書く**ことができています。

【活用したソフトや機能】ロイロノート（教師が作成した語句絵カードや、振り返りシートを共有）

①子供たちが、自分の学習状況を認識し、学習方法を選択しながら、目標を達成していくことができるようにする。

②書く活動を行うに当たって、言語面・内容面において課題を感じている子供が、協働的な学びを通し解決策を考えられる支援を行う。
*それぞれの子供が習得した知識を共有し、協働的に学び合うことで、考え等を再構築できるようにする。指導者は、子供の学習状況に応じ、言語面・内容面からの指導を行う。

③書くことの丁寧な支援を行う。
*ポイントが明確に示された学習補助ツールの語句絵カード等を活用する。これにより、語順を意識しながら自分の伝えたい内容に応じて語を選んだり、語と語の区切りに注意して、四線上に正しく書いたりできるようにする。
*指導者は丁寧に見取り、指導・支援を行う。なお、この写真の子供は、指を置くことで、単語を一つずつ区切ることを意識している。

学習指導要領や解説との関連

学習指導要領 第2章 第10節 外国語

第2の1の(5)

(5) 書くこと

イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

第2の3の(2)

ウ 文や文構造の指導に当たっては、次の事項に留意すること。

(イ) 文法の用語や用法の指導に偏ることがないように配慮して、言語活動と効果的に関連付けて指導すること。

カ 各単元や各時間の指導に当たっては、コミュニケーションを行う目的、場面、状況などを明確に設定し、言語活動を通して育成すべき資質・能力を明確に示すことにより、児童が学習の見通しを立てたり、振り返ったりことができるようにすること。